

総務常任委員会

10月16～18日、公共施設の管理運営などの先進地である愛知県一宮市・半田市・清須市を視察しました。この視察は、当市の現状を踏まえ先進地に学びつつ、市民意識に沿った行政サービス、利便性或いは費用対効果などを考慮したものです。

一宮市では、PFI方式による公共施設運営について、半田市では、スマートフォンを活用し、道路や施設の破損修繕等に市がスムーズに対応する取組等について、清須市では、市庁舎の再編事業等について研修しました。



教育福祉常任委員会

10月24～26日、滋賀県米原市、石川県加賀市、福井県勝山市を視察しました。

米原市では、東京五輪等の開催に伴うホストタウン事業戦略やホッケーを核としたスポーツ施設の整備について、加賀市では、学習指導要領の改定に伴う小学校のプログラミング教育の必修化の先進的な取組について、勝山市では、勝山市体育館ジオアリーナの整備やオリンピック選手を育成した地域一体で取り組んでいるバドミントンの強化システムについて研修しました。



産業建設常任委員会

10月10～12日、富山県射水市、南砺市、高岡市を視察しました。

射水市では、サクラマスの陸上養殖の事業化や、JR西日本と連携した付加価値化の取組について、南砺市では、移住・定住や婚活、空き家対策、雇用支援など様々な施策を連動させ、人口減少を抑制する取組について、近畿大学水産研究所では、水産の最新技術や将来展望について、高岡市では、産学官の連携を強化し、研究開発、製造、販路拡大等の幅広い企業ニーズに応えるワンストップ対応の支援体制について研修しました。



議会運営委員会

10月30・31日、東京都町田市議会と多摩市議会を視察しました。

町田市では、常任委員会と市民団体との懇談会や高校生との意見交換会の運営手法について研修し、また本会議における議員個々の表決結果の公表や、議案の審議内容等をまとめた「議案のカルテ」の公表などについて研修を深めました。

多摩市では、常任委員会を中心とした地域に向いての市民団体との意見交換会や、また議会においての決算審査から各施策を評価する取組を積極的に導入していることなどについて研修しました。

当議会が今後更なる市民ニーズに応えるための指針になり、先進事例として大いに学び、後々の活動に生かしていきます。



議会だより委員会

11月20・21日、宮城県利府町議会、奥州市議会へ議会だよりの編集等におけるより良い習得を目指すために視察しました。

利府町では、町村議会広報全国コンクールで最優秀賞を受賞する議会でもあり、いずれの自治体でも、編集方針、レイアウト、タイトル等について教示を受けたもので、中学生でも、十分に理解できる広報誌の作成を目標にし、中高生のほか大人に対しても「社会教育」の材料になり得る広報機能を有し、傍聴できなかった住民でも足を運んだ人と同様の情報を織り込むことを目標に記事を選定したりとより突っ込んだ方法によって作成されていることも大いに参考になりました。



総務常任委員会の管内視察

当委員会では、現在公共施設の管理に関する調査研究を推進しており、役割を終えた施設や今後益々充実させなければならない施設の視察を実施し、より市民サイドに立った活動を目指して行っています。11月には、鹿の森公園、文化財収蔵庫、博物館、世界の櫓館・基石、12月には、吉浜小学校屋内運動場、三陸体育館、旧蛸ノ浦小学校などを視察しました。その結果、維持管理経費や今後の解体、利用計画等も各々の施設で事情が異なりますが、老朽化した施設の改修並びに解体等多くの課題が浮きぼりとなり、今後は、より市民ニーズに沿った提言をまとめるべく鋭意活動することとしています。

産業建設常任委員会の管内視察

当委員会では、11月9日に大船渡商工会議所、12月5日に、ゆわて吉田工業㈱と意見交換の場を設けました。商工会議所では、業種や企業の課題や人口減少への対応を確認し、商品開発及び販路拡大等の支援充実について、意見交換しました。ゆわて吉田工業㈱では、事業内容のほか人材確保対策、育成等に係る高校等への出前講座の取組といった独自の対策や、人手不足解消と社員の福利厚生を含めた働きやすい環境の醸成と、社員が活躍できる環境整備の取組の重要性について、詳細な説明を受け、働き方改革にも取り組んでいることなどが紹介され大いに参考になりました。